

医療被ばくに関する説明書

CT検査を受けられる患者様へ

◆CT検査について

X線を使用して身体の断面像を撮影し、病気の診断を行う検査です。検査にかかる時間は5～15分程度ですが、実際に放射線を照射している時間は数十秒です。検査を行うことで得られる医療情報の必要性が被ばくによるリスクより十分に大きいと医師が判断する場合のみに行います。

◆被ばく（放射線の量）について

通常のCT検査により受ける放射線の量は3～60ミリシーベルトですが、検査する部位や範囲、方法で異なります。

放射線を大量に被ばくすることで発がん率が高くなりますが、100ミリシーベルト以下の低線量被ばくでは人体への影響は非常に小さく、がんになる可能性が増えるとも増えないとも言えないと現時点では結論づけられています。つまり100ミリシーベルト以下では、生活習慣による発がんや放射線による発がんとの区別できないということです。よって、必要な検査を受ける方が今の健康を守るために必要と考えられています。

◆放射線量の低減について

当院では、法令や関連学会のガイドラインをもとに最適な条件で検査を行い、放射線による被ばくを必要最低限にすることを実践しています。また、様々な被ばく低減技術を利用し、放射線量の低減に努めています。